カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 昼間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【A】

国際的な場面で活躍するための高度な外国語運用能力（外国語運用能力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【A】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

共通教育外国語科目の必修科目である「大学英語」、「英語講読演習中級」によって基礎的外国語運用能力を身に付ける。

英語読解力を養成する科目としては、「リーディング」、「英文法演習」、「英語資格試験演習　」がある。

英語を書く力を養成する科目としては、「英文法演習」、「ライティング」、「アカデミックプレゼンテーション」がある。

英文を聞く力を養成する科目としては「オーラルコミュニケーション」、「英語資格試験演習」がある。

英語を話す力を養成する科目としては、「オーラルコミュニケーション　」、「アカデミックプレゼンテーション 」がある。

その他、3年次から4年次の各専門領域の専門科目を通してさらに高度な外国語運用能力を身に付ける。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）	外101	大学英語	4	1年次	前期	講義+演習
必修（共通）	外102	英語講読演習中級	2	1年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	英言111	リーディング	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	英言121	英文法演習	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	英言231	オーラルコミュニケーション	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	英言221	ライティング	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	英言115	英語資格試験演習	2	3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	英言311	アカデミックプレゼンテーション	2	3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）		文学系・言語系の各種専門科目	2	2～4年次	前期/後期	講義+演習

初年次 → 高年次

合計単位数　20

カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 昼間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【B】

外国語の情報を正確に整理・分析することによって、グローバルな視点で主体的な見解を導く能力（情報分析力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

1年次の段階でまず共通教育の情報関係科目を履修し、コンピュータリテラシーや日本語表現力を高める。また、専門科目の「基礎演習」では、指導教員の指導のもと、情報の収集・整理・分析を行いレポートを作成する方法を学ぶ。

1年次から2年次にかけて「リーディング」や「英語研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を履修し、情報を正確に収集・分析する手法を身に付ける。

さらに2年次から3年次にかけて履修する「ライティング」「リーディング」「地域・国際実践力演習Ⅲ」等により、収集した情報から主体的な見解を構築し、それを正確に英語で表現する能力を身に付ける。

4年次の「地域・国際実践力演習Ⅳ」及び「卒業研究」では自主的なリサーチに基づく発表や討論を行い、さらなる情報収集・整理・分析能力の向上とともに、独自の見解にたどり着く能力を身に付ける。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
自由選択（共通）	情01	情報科学演習	2	1年次	前期/後期	講義+演習
必修（専門）	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	英言181	英語研究Ⅰ	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	英言241	イギリス文学概論	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	英言281	英語研究II	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（共通）	英言242	アメリカ文学概論	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	英言282	英語研究 Ⅲ	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	講義+演習
必修（専門）	英言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

初年次 → 高年次

合計単位数　20

カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 昼間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【C】

多様な見解や価値観を学びつつ、自らの意見を説得力ある表現で伝達することのできる能力（主体的表現力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【C】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

1年次の「基礎演習」でレポートの書き方の基本を学ぶ。2年次以降、「ライティング」「オーラルコミュニケーション」及び「アカデミックプレゼンテーション 」で英語による表現力を順次高めていく。

3年次から4年次にかけての「地域・国際実践力演習Ⅲ」では、相手を理解し、自らの見解を適切に表現する技術の基礎を形成する。

4年次の「地域・国際実践力演習Ⅳ」「卒業研究」では、様々なトピックについて発表したりディスカッションをしたりすることにより、自らの見解と意見を説得力ある表現で伝達する能力を修得する。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	英言101	基礎演習	2	1年次	前期	講義+演習
必修（専門）	英言231	オーラルコミュニケーション	2	2年次	前期	講義+演習
必修（専門）	英言221	ライティング	2	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	英言311	アカデミックプレゼンテーション	2	3年次	後期	講義+演習
必修（専門）	国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4年次	前期	講義+演習
必修（専門）	国言503	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4年次	後期	講義+演習
必修（専門）	英言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

合計単位数　14

初年次 → 高年次

カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 昼間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【D】

異なる文化背景・国籍をもつ人々と協力しながら、地球的視野で物事を判断し、地域あるいは国際社会の様々な課題に対して、専門的知識を基に思考し、行動することができる能力（専門的知識と実践力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【D】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

1年次～2年次の「第二外国語」「言語科学入門」「英米文化入門」「異文化理解」「ヨーロッパ文化入門」等を通して多様な見解や価値観について学び、他者や異文化に対する理解を深め、様々な人たちと協働するための基礎力を育成する。

2年次以降の各専門領域の専門科目を通して地球的視野で物事を判断し、課題に取り組むための思考力を涵養する。

3年次以降の専門科目である「地域・国際実践力演習Ⅲ、Ⅳ」「卒業研究」では、様々な課題に対して専門的知識を基に思考し、行動することができる能力を育成する。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することてで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【D】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
選択必修（専門）		第二外国語	8	1～4年次	前期/後期	講義+演習
選択必修（専門）	学共106	言語科学入門	2	1年次	前期	講義+演習
選択必修（共通）	学共114	ヨーロッパ文化論	2	1～2年次	後期	講義+演習
自由選択（専門）	学共209	異文化理解	2	1～2年次	後期	講義+演習
自由選択（専門）	学共123	英米文化入門	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）		文学系・言語系の各種専門科目	2	2～4年次	前期/後期	講義+演習
自由選択（専門）	英言410	異文化実地研修A	2	3～4年次	前期/後期	その他
自由選択（専門）	英言420	異文化実地研修B	2	3～4年次	前期/後期	その他
必修（専門）	英言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

合計単位数　24

初年次 → 高年次

カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 夜間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【A】

国際的な場面で活躍するための高度な外国語運用能力（外国語運用能力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【A】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

共通教育外国語科目の必修科目である「大学英語」、「英語講読演習中級」によって基礎的外国語運用能力を身に付ける。

英語読解力を養成する科目としては、「リーディングI,II」、「英文法演習」、「英語資格試験演習　」がある。

英文を書く力を養成する科目としては、「英文法演習」、「ライティングI,II」、「アカデミックプレゼンテーションI,II」がある。

英語を聞く力を養成する科目としては「オーラルコミュニケーションI,II」、「英語資格試験演習」がある。

英語を話す力を養成する科目としては、「オーラルコミュニケーション I,II」、「アカデミックプレゼンテーション I,II 」がある。

その他、3年次から4年次の各専門領域の専門科目を通してさらに高度な外国語運用能力を身に付ける。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）	B外101	大学英語	4	1年次	前期	講義+演習
必修（共通）	B外102	英語講読演習中級	2	1年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言231	オーラルコミュニケーション Ⅰ	2	1年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言121	英文法演習	2	1年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言221	ライティングⅠ	2	1年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言111	リーディング Ⅰ	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言232	オーラルコミュニケーション Ⅱ	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言311	アカデミックプレゼンテーションⅠ	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言112	リーディング Ⅱ	2	3年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言115	英語資格試験演習	2	3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言222	ライティングⅡ	2	3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言312	アカデミックプレゼンテーションⅡ	2	3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）		文学系・言語系の各種専門科目	2	2～4年次	前期/後期	講義+演習

初年次 → 高年次

合計単位数　28

カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 夜間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【B】

外国語の情報を正確に整理・分析することによって、グローバルな視点で主体的な見解を導く能力（情報分析力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

1年次の段階でまず共通教育の情報関係科目を履修し、コンピュータリテラシーや日本語表現力を高める。また、専門科目の「基礎演習」では、指導教員の指導のもと、情報の収集・整理・分析を行いレポートを作成する方法を学ぶ。

1年次から2年次にかけて「イギリス文学概論」「アメリカ文学概論」「英語研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を履修し、情報を正確に収集・分析する手法を身に付ける。

さらに2年次から3年次にかけて履修する「地域・国際実践力演習Ⅲ」等により、収集した情報から主体的な見解を構築し、それを正確に英語で表現する能力を身に付ける。

4年次の「地域・国際実践力演習Ⅳ」及び「卒業研究」では自主的なリサーチに基づく発表や討論を行い、さらなる情報収集・整理・分析能力の向上とともに、独自の見解にたどり着く能力を身に付ける。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
自由選択（共通）	B情01	情報科学演習	2	1年次	前期/後期	演習
必修（専門）	B学共100	基礎演習	2	1年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言242	アメリカ文学概論	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言181	英語研究Ⅰ	2	2年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言241	イギリス文学概論	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言281	英語研究II	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言282	英語研究 III	2	2年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言503	地域・国際実践力演習III	2	4年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	B英言504	地域・国際実践力演習IV	2	4年次	後期	講義+演習
必修（専門）	B英言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

合計単位数　20

初年次 → 高年次

カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 夜間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【C】

多様な見解や価値観を学びつつ、自らの意見を説得力ある表現で伝達することのできる能力（主体的表現力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【C】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

1年次の「基礎演習」でレポートの書き方の基本を学ぶ。2年次以降、「ライティングⅠ、Ⅱ」及び「アカデミックプレゼンテーションⅠ、Ⅱ」で英語による表現力を順次高めていく。

3年次から4年次にかけての「地域・国際実践力演習Ⅲ」では、相手を理解し、自らの見解を適切に表現する技術の基礎を形成する。

4年次の「地域・国際実践力演習Ⅳ」「卒業研究」では、様々なトピックについて発表したりディスカッションをしたりすることにより、自らの見解と意見を説得力ある表現で伝達する能力を修得する。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	B英言101	基礎演習	2	1年次	前期	講義+演習
必修（専門）	B英言221	ライティングⅠ	2	1年次	前期	講義+演習
必修（専門）	B英言312	アカデミックプレゼンテーションI	2	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	B英言222	ライティングⅡ	2	3年次	後期	講義+演習
必修（専門）	B英言313	アカデミックプレゼンテーションII	2	3年次	後期	講義+演習
必修（専門）	B英言503	地域・国際実践力演習III	2	4年次	前期	講義+演習
必修（専門）	B英言504	地域・国際実践力演習IV	2	4年次	後期	講義+演習
必修（専門）	B英言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

初年次 → 高年次

合計単位数　16

カリキュラムマップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （英語文化履修コース 夜間主）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【D】

異なる文化背景・国籍をもつ人々と協力しながら、地球的視野で物事を判断し、地域あるいは国際社会の様々な課題に対して、専門的知識を基に思考し、行動することができる能力（専門的知識と実践力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【D】を達成するための取組
〈授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名〉

1年次～2年次の「第二外国語」「世界史概論」「異文化理解」「英米文学概論」「メディアの英語」等を通して多様な見解や価値観について学び、他者や異文化に対する理解を深め、様々な人たちと協働するための基礎力を育成する。

2年次以降の各専門領域の専門科目を通して地球的視野で物事を判断し、課題に取り組むための思考力を涵養する。

3年次以降の専門科目である「地域・国際実践力演習Ⅲ,Ⅳ」「卒業研究」では、様々な課題に対して専門的知識を基に思考し、行動することができる能力を育成する。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【D】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
選択必修（専門）		第二外国語	8	1～4年次	前期/後期	講義
選択必修（共通）	B学共256	メディアの英語	2	1年次	前期	講義
自由選択（専門）	B英言141	英米文学概論	2	1年次	前期	講義
選択必修（専門）	B学共213	世界史概論	2	1年次	後期	講義
自由選択（専門）	B英言201	異文化理解	2	1年次	後期	講義
選択必修（専門）		文学系・言語系の各種専門科目	2	2～4年次	前期/後期	講義+演習
自由選択（専門）	B英言410	異文化実地研修A	2	3～4年次	前期/後期	その他
自由選択（専門）	B英言420	異文化実地研修B	2	3～4年次	前期/後期	その他
必修（専門）	B英言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

初年次 → 高年次

合計単位数　24

カリキュラム・マップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （ヨーロッパ文化履修コース）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【A】

国際的な場面で活躍するための高度な外国語運用能力（外国語運用能力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【A】を達成するための取組
<授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名>

1年次には、各自の学びたい言語をドイツ語、フランス語、スペイン語の中から一つを選択し、共通教育科目「インテンシブドイツ語I/II」、「インテンシブフランス語I/II」、「インテンシブスペイン語I/II」のいずれかを受講し、当該言語の「読む・聴く・話す・書く」ことに慣れることから始める。2年次からは当該言語の習得の深化を目指し、関連言語の専門科目を履修し、高度な言語能力を身に付ける。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を、評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
選択必修（共通）	外207/208	インテンシブドイツ語 I/II	8	1年次	前期/後期	講義+演習
選択必修（共通）	外307/308	インテンシブフランス語 I/II	8	1年次	前期/後期	講義+演習
選択必修（共通）	外407/408	インテンシブスペイン語 I/ II	8	1年次	前期/後期	講義+演習
選択必修（専門）	欧言200	ドイツ語オーラル・コミュニケーション I	2	2～3年次	前期	演習
選択必修（専門）	欧言201	ドイツ語トレーニング I	2	2～3年次	前期	演習
選択必修（専門）	欧言202	フランス語オーラル・コミュニケーション I	2	2～3年次	前期	演習
選択必修（専門）	欧言203	フランス語トレーニング I	2	2～3年次	前期	演習
選択必修（専門）	欧言204	スペイン語オーラル・コミュニケーション I	2	2～3年次	前期	演習
選択必修（専門）	欧言205	スペイン語トレーニング I	2	2～3年次	前期	演習
選択必修（専門）	欧言207	ドイツ語オーラル・コミュニケーション II	2	2～3年次	後期	演習
選択必修（専門）	欧言208	ドイツ語文法 I	2	2～3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	欧言209	ドイツ語トレーニング II	2	2～3年次	後期	演習
選択必修（専門）	欧言211	フランス語オーラル・コミュニケーション II	2	2～3年次	後期	演習
選択必修（専門）	欧言212	フランス語文法 I	2	2～3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	欧言213	フランス語トレーニング II	2	2～3年次	後期	演習
選択必修（専門）	欧言215	スペイン語オーラル・コミュニケーション II	2	2～3年次	後期	演習
選択必修（専門）	欧言216	スペイン語文法 I	2	2～3年次	後期	講義+演習
選択必修（専門）	欧言217	スペイン語トレーニング II	2	2～3年次	後期	演習
選択必修（専門）	欧言300	ドイツ語ライティング I	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言301	ドイツ語リーディング I	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言303	ドイツ語文法 II	2	3～4年次	前期/後期	講義+演習
選択必修（専門）	欧言304	フランス語ライティング I	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言305	フランス語リーディング I	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言307	フランス語文法 II	2	3～4年次	前期/後期	講義+演習
選択必修（専門）	欧言308	スペイン語ライティング I	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言309	スペイン語リーディング I	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言311	スペイン語文法 II	2	3～4年次	前期/後期	講義+演習
選択必修（専門）	欧言312	ドイツ語ライティング II	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言315	ドイツ語リーディング II	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言318	フランス語ライティング II	2	3～4年次	前期/後期	演習

初年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （ヨーロッパ文化履修コース）

選択必修（専門）	欧言321	フランス語リーディングⅡ	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言324	スペイン語ライティングⅡ	2	3～4年次	前期/後期	演習
選択必修（専門）	欧言327	スペイン語リーディングⅡ	2	3～4年次	前期/後期	演習

合計単位数　84

高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （ヨーロッパ文化履修コース）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【B】

外国語の情報を正確に整理・分析することによって、グローバルな視点で主体的な見解を導く能力（情報分析力）

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
<授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名>

1年次前期に「基礎演習」でレポートや論文を書く上での基本的な情報収集能力を身に付けるための訓練を行う。1年次から2年次にかけては、共通教育科目、専門基盤力科目の履修、様々な分野における学習経験を通して、知識・情報の分析や解析、そこからの応用等について経験を積む。3年次からは、より主体的に演習科目に取り組み、最後は卒業研究によって、集大成を図る。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を、評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
選択必修（専門）	学共106	言語科学入門	2	1年次	前期	講義
選択必修（専門）	学共115	ヨーロッパ文化論	2	1年次	後期	講義
選択必修（専門）	学共123	英米文化入門	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	国言501	地域・国際実践力演習 Ⅰ	2	3年次	前期	演習
必修（専門）	国言502	地域・国際実践力演習 Ⅱ	2	3年次	後期	演習
必修（専門）	国言503	地域・国際実践力演習 Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修（専門）	国言504	地域・国際実践力演習 Ⅳ	2	4年次	後期	演習
必修（専門）	欧言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

合計単位数　18

初年次 → 高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （ヨーロッパ文化履修コース）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【C】

多様な見解や価値観を学びつつ、自らの意見を説得力ある表現で伝達することのできる能力（主体的表現力）

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【C】を達成するための取組
<授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名>

1年次前期に「基礎演習」でレポートや口頭発表の実践を通して自己表現力の訓練を行う。1年次から2年次にかけては、共通教育科目、専門基盤力科目の履修、様々な分野における学習経験を通して、様々な知識・情報を吸収するとともに、そこから自らの学問探求の道を模索する。3年次からは、より主体的に演習科目に取り組み、最後は卒業研究によって、自らの研究の成果を発表する。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を、応用できる能力や習熟度を評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	学共100	基礎演習	2	1年次	前期	演習
選択必修（専門）	学共106	言語科学入門	2	1年次	前期	講義
選択必修（専門）	学共115	ヨーロッパ文化論	2	1年次	後期	講義
選択必修（専門）	学共123	英米文化入門	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	国言501	地域・国際実践力演習 Ⅰ	2	3年次	前期	講義
必修（専門）	国言502	地域・国際実践力演習 Ⅱ	2	3年次	後期	演習
必修（専門）	国言503	地域・国際実践力演習 Ⅲ	2	4年次	前期	演習
必修（専門）	国言504	地域・国際実践力演習 Ⅳ	2	4年次	後期	演習
必修（専門）	欧言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

合計単位数　18

初年次 → 高年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （ヨーロッパ文化履修コース）

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【D】

異なる文化背景・国籍をもつ人々と協力しながら、地球的視野で物事を判断し、 地域あるいは国際社会の様々な課題に対して、専門的知識を基に思考し、行動することができる能力（専門的知識と実践力）

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【D】を達成するための取組
<授業の構成（教育内容・方法）、科目間の順次性・関連性、科目名>

学習教育目標【A】の科目欄に挙げた言語習得科目に加えて、言語文化や異文化理解に関する専門科目、また実践的研修科目や演習科目の履修を通して異文化理解を深め、地球的な視野で物事を見つめ、考え、行動する能力を養う。また、様々な課題について自ら考え、解決する能力を養うため、各自の決めた専門分野に関する講義・演習科目を受講し、最終的には集大成として卒業研究に取り組むことによって、専門知識を活かした問題解決力を身に付けたことを証するような成果を挙げる。

基本的に講義科目では修得した知識の理解度を、演習科目では知識を応用できる能力や習熟度を、評価する。学習成果の集大成となる卒業研究では、それまでの学修を基に文学・言語に関わる専門的課題を自ら探求し解決できたか、あるいは、課題理解を深化できたかを評価する。学習成果を適切に評価することで教育課程の継続的改善に取り組む。

（3）学習教育目標【D】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
選択必修（共通）	外101	大学英語	4	1年次	前期	講義+演習
選択必修（専門）	学共115	ヨーロッパ文化論	2	1年次	後期	講義
選択必修（専門）	学共209	異文化理解	2	1～2年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	学共255	EU研究	2	1～2年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	国言101	学外実地研修	2	1～4年次	前期/後期	実習
選択必修（専門）	欧言206	ドイツ社会研究	2	2～3年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	欧言210	フランス社会研究	2	2～3年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	欧言214	スペイン社会研究	2	2～3年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	欧言218	ヨーロッパ文学・言語研究	2	2～4年次	前期/後期	講義+演習
自由選択（専門）	国言103	異文化実地研修B	2	3～4年次	前期/後期	実習
自由選択（専門）	欧言302	ドイツ文化研究Ⅰ	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言306	フランス文化研究Ⅰ	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言310	スペイン文化研究Ⅰ	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言317	ドイツ文化研究Ⅱ	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言323	フランス文化研究Ⅱ	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言329	スペイン文化研究Ⅱ	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言314	ドイツ語文学史	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言316	ドイツ語学研究	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言320	フランス語文学史	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言322	フランス語学研究	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言326	スペイン語文学史	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言328	スペイン語学研究	2	3～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	欧言400	ドイツ言語文化演習Ⅰ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言401	ドイツ語アドヴァンストリーディングⅠ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言402	フランス言語文化演習Ⅰ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言403	フランス語アドヴァンストリーディングⅠ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言404	スペイン言語文化演習Ⅰ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言405	スペイン語アドヴァンストリーディングⅠ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言406	ドイツ語言語文化演習Ⅱ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言407	ドイツ語アドヴァンストリーディングⅡ	2	3～4年次	前期/後期	演習

初年次

カリキュラム・マップ

【ワークシート：DP・CPの対応関係及び学習の内容・方法】

国際言語文化学士教育プログラム （ヨーロッパ文化履修コース）

自由選択（専門）	欧言408	フランス語言語文化演習Ⅱ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言409	フランス語アドヴァンストリーディングⅡ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言410	スペイン語言語文化演習Ⅱ	2	3～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	欧言411	スペイン語アドヴァンストリーディングⅡ	2	3～4年次	前期/後期	演習
必修（専門）	欧言500	卒業研究	2	4年次	後期	演習

合計単位数　72

高年次